

事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称 施策Ⅱ-1-7
災害に強い県土づくり

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

農地整備課 足立 和彦

電話番号

0852-22-5149

事務事業の名称	防災ダム管理及び保守事務	
目的	(1) 対象	ダム下流に居住する農家等
	(2) 意図	ダム下流の洪水被害をなくし、県土の保全と安全安心な生活を確保する。
事業概要	・ダム下流農地や集落への洪水被害をなくすため、防災ダムの機器の修繕や更新等を行う。	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	
1	指標名	適正かつ確実にダム管理ができた日数の割合	目標値		100.0	100.0	100.0	100.0	%
	式・定義	(管理ができた日数/365日) × 100	取組目標値						
			実績値	100.0	100.0	100.0			
			達成率	-	100.0	100.0	-	-	%
2	指標名		目標値						%
	式・定義		取組目標値						
			実績値						
			達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	41,828	46,518
うち一般財源 (千円)	14,148	12,498

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

・県下3箇所の農地防災ダム（清瀧ダム、嵯峨谷ダム、津田川ダム）の下流では、近年、農地や集落に洪水被害は発生していない。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

・平成29年度においても、県下3箇所の農地防災ダム下流の農地や集落に洪水被害は発生しなかった。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

・施設の老朽化や、堆積土砂等の撤去のため、年々管理費用が高んでおり、適切な管理に影響が及ぶ恐れがある。

②困っている状況が発生している「原因」

・土砂の撤去や補修等、ダム施設の管理に必要な予算が不足している。

③原因を解消するための「課題」

・限られた予算の中で、効率的に事業を実施していく必要がある。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

・維持管理費の一層のコスト縮減を図るとともに、計画的・効率的な事業実施を図る。